

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和4年5月20日

東員町議会

議長 三宅耕三様

東員町議会

議員 大谷勝治



研 修 報 告 書

研修期間	令和4年5月 10日（火） ～ 5月11日（水）【2日間】
研修（視察）先	茨城県日立市
目的（テーマ等）	鉄道に代わる公共交通システム
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 大谷 勝治 〕

研修概要、内容、所感

・日立電鉄線跡地を新交通の専用道路として整備し、路線バスより早く、決まった時間に、安全に、また、自由な停留所配置や運行ルートを選択が可能な利便性の高い乗り物に生まれ変わりました。

このように専用の走行空間が確保され、車両や停留所、さらには運行管理を統合した交通[バス高速道路輸送システム (BRT)]を視察しました。

1日目は、市役所で都市政策課よりシステムについて説明をして頂きその後、質疑応答に入りました。

運賃収益、BRTの導入、現状、今後についてなど討論致しました。

私はバスの動力についての質問をしました。

現在第1期、第2期工事区間は、ハイブリッドバスを8台で運行しています。

電動化が選択肢にあったかどうかを尋ねたところ、現在第3期計画でありその中で検討され、自動運転は2025年社会実装をめざし、今年度秋ごろに実証実験をする予定とのことでした。

2日目は、多賀駅前からおさかなセンターまでを、ひたちBRTに乗車しました。

ひたちBRTは全てJR大甕駅の西側「大甕駅西口(学園前)」に接続しており便利良くなっています。

定時性・速達性の確保、柔軟な運航ルート設定、安価な整備・維持管理費などのメリットがあり良いと思いました。

バス専用道路の中に3.5mの歩道があり安全な散歩道になっていました。ただ一部の道路の交差点では、注意しなければいけない所もありました。

今回の視察研修で第1・2期間にある日立駅の商業地が無くなったので第3期では復活すると集客につながるのではと思いました。

この新交通導入事業はこれからの交通システムの参考になりました。